

あたらしく入った本



『エリック・カールの えいごがいっぱい』

絵本『はらぺこあおむし』で有名な、アメリカを代表する絵本作家エリック・カール。そのあざやかな絵をふんだんにつかって構成した、英単語を学べる絵本。これまで作者がコラージュで描いてきた動物、虫、食べ物、乗り物など、さまざまなイラストが200以上収録されています。



『冒険の書 AI時代のアンラーニング』

「私たちはなぜ勉強しなきゃいけないの？」
「好きなことだけしてちゃダメですか？」
「自分らしく生きるにはどうすればいいの？」
「世界を少しでも良くする方法は？」
数々の問いを胸に「冒険の書」を手にした「僕」は、時空を超えて偉人たちと出会う旅に出ます。



『ノラネコぐんだん アイスのくに』

「ニャー アイす たべたいね」と、アイスクリームパーラーをのぞくノラネコぐんだん。アイスが入っていた空っぽの缶を発見して…。まさか!?!の感動の展開に、最高傑作との呼び声も高いシリーズ第6弾。



『けんかのたね』

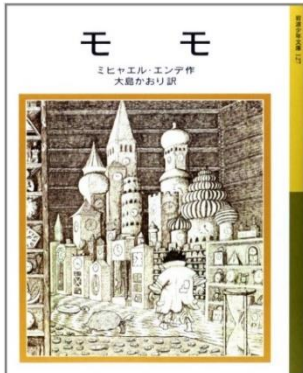
ある日の夕方、家の中は大さわぎ。いぬは、ねこをおいまわし、4人きょうだいは大げんか。わけをきいても、口ぐちに、自分のせいじゃない!というばかり。いったい、なにがあったの? 仲間おりできるの?! いいわけをする子どもたちと、いいわけのできないいぬとねこ、そして、いいわけをしなかったねずみの、たのしい絵童話。

★そのほかにもたくさん新しい本が入りました

★課題図書の本はすべてあり、点字もこれから並ぶ予定です。ぜひ借りて読んでみましょう

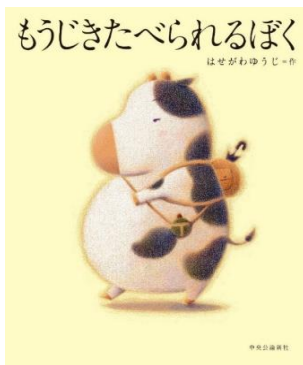
新任の先生おすすめ本

図書委員が今年度来られた先生方におすすめの本を聞きました！図書室に本と一緒に展示しているので、ぜひ手に取ってみてください。



『モモ』

人生で大事なことは何かを考えさせられる。ずっと読みたかったけど読めず、数年前にやっと読むことができました。今、また読みたい！何度も読み返してみたい本です。



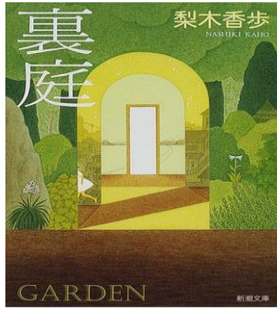
『もうじきたべられるぼく』

食べものに感謝するだけでなく、自分の命も大切にしようと思える作品で、優しく温かみのあるイラストで描かれています。命の大切さを考えるきっかけを与えてくれる絵本です。



『手紙屋 蛍雪篇 私の受験勉強を変えた十通の手紙』

「なぜ勉強するのか」その答えが見つかるかもしれない本です。読みやすくすらすら読める文章なのでぜひ手に取ってほしいです。読み始めたら一気に読めて、読み進めるほどもやっとしていたものがすっかりしていく感じがします。



『裏庭』

小学生の時に読んで、衝撃を受けたファンタジー要素のある小説です。主人公・照美が自分の「傷」と向き合い、成長していく物語です。



『めっきらもつきら どおんどん』

子どもの頃に読み、その想像力を飛び越えた不思議な世界と躍動感ある絵が今でも心に残っているからです。



『人間なもの』

悩んだ時に前向きな気持ちになれるステキな言葉は、いくつになっても心に響きます。嬉しいことも嫌なこともいろいろあるよね、にんげんなもの。

まきのとみたらう

牧野富太郎ってどんな人？

日本全国の野山を駆け巡り、集めた標本は40万点。数多くの新種を発見し、命名した植物は1500種類以上。彼の波乱万丈な人生を読んで体感しませんか。植物に関する本も展示しています。

